

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年8月22日

事業者名: 有限会社 大橋量器

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	日本のひのきを材料として使用し、戦後に植林したひのきの伐採時期を超えようとしている今、林業の活性化の一助となるべく、建築材の端材を利活用することで日本の森林を守ることにつながる意識で脱炭素社会の実現を啓蒙・発信している	⑮森の豊かさを守ろう, ⑬気候変動に具体的な対策を	日本の桧を使用している率は95%で、その内建築材の端材を使用しているのは100%です。	指標	小学校における柎のプランターづくりと林業現場における植林体験件数
				目標	R7年度までに小学校における柎のプランターづくりと林業現場における植林体験ついでの実績を5件つくる。
社会	地域を代表する地場産業・伝統産業の意識を持ち大垣市を特徴づけるものとして地域の認知度向上を目指し、柎づくり体験、地元小中学校の工場見学受入れ・職場体験、柎カフェの運営等を行っている	⑪住み続けられるまちづくりを,⑧働きがいも経済成長も	今年度工場見学受入れ校数は3校、職場体験2名、柎づくり体験100名超	指標	地元小中学校の工場見学受入数、職場体験人数、柎づくり体験人数
				目標	令和7年度までに年間、地元小中学校の工場見学受入数:10校、職場体験:8名、柎づくり体験:250名を達成する
経済	岐阜県、長野県、三重県、愛知県の中部地方の材料を使うことで中部圏の林業循環に寄与する	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう,⑧働きがいも経済成長も	現在は中部圏ひのきを70%使用して生産している	指標	中部圏ひのき使用率を80%に上げる
				目標	R7年度に中部圏ひのき使用率を80%に上げるため、地域の製材所回りを定期的に行う
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 経営指針書の冒頭にSDGsと当社の関わりを記載し、社員への意識を高めると共に、中期～短期的にSDGs該当製品づくりや長期的には林業の活性化の一助になる旨を常に掲げている			
	<input checked="" type="checkbox"/>				